**[Ａ]“大会要項”原稿作成要領**

**作成要領**

１　大会要項原稿はすべてテキストデータのみでの入力となります。事前に以下の必ずテンプレート（ホームページ上のフォーム）を利用して事前に作成をしておいてください．

２　全体の行数は，「大会要項入力レイアウト」のように，タイトル，空行を含め，１０行以内に収めてください．サブタイトルが無い場合は，タイトルの下を２行空けてください．従って，要旨については，１行は２３文字ですので，書き出しのスペースを含め，全体を９２文字（２３文字×４行）以内で収めて下さい．詳しくは，下の記入例を参照してください．

３　副題は，：，；，－，～等の記号は使用しないで，副題タイトルのみを入力してください．

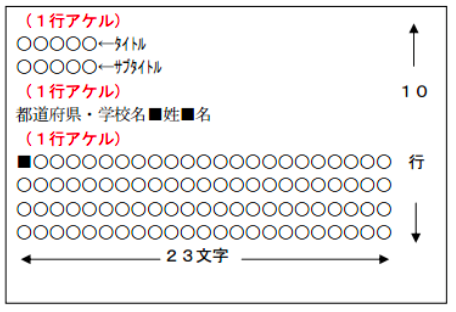
４　都道府県，学校名，氏名等は１行にまとめ，都道府県名，校名，氏名の順で左詰めにしてください．校名と氏名，氏名の姓と名の間は１字分空けてください．　※■で表記してあります．

５　タイトルとサブタイトルは左詰め，要旨の書き出しは１文字分あけて書き始めてください．

６　表記の仕方については，「５ 原稿表記上」の注意に従いますが，編集の都合上により，つぎの点にご留意ください．

　・分数の形の数式は，「3/5，(a+b)/2」など１行で表す．累乗は「x^2」「x^3」と表す．

　【大会要項原稿入力レイアウト】



【大会要項原稿テンプレート記入例】

変化の割合に着目した関数指導の試み

比例，反比例における実践

○○県・□□中学校　鈴木　一郎

　関数y=ax^2のようにグラフが曲線になるものでこそ変化の割合を用いて考えるよさが実感できるように，「xの値が１ずつ増加するときのyの増加量」に着目して双曲線の特徴を説明する指導を試みた．

**[Ｂ]“大会発表要旨集”原稿作成要領**

**作成要領**

**１　原稿の作成について**

上余白　　　５５mm

下余白　　　２０mm

右余白　　　２０mm

左余白　　　２０mm

段組　　　　　２段

段間隔　　　　２字

１行文字数　２２字

段行数　　　３７行

文字種　　　ＭＳ明朝体

文字サイズ　１０ポイント

左余白

２０mm

右余白

２０mm

【A４判】

タイトル

発表者名

下余白

２０mm

上余白

５５mm

３７行

２２字

表３行行

２文字

　　文章は必ずテンプレートを使用して作成してください．原稿のサイズはＡ４判で，１発表につき１ページです．書式は右のとおりです．原稿は同じ字体にするため，ＭＳ明朝・１０ポイントでお願いします．

　　発表者から送付していただいた原稿（データ）をそのままＢ５判に縮小し，印刷をしますので，あらかじめご了承ください．

**２　タイトル・発表者名**

　　タイトルは，本文上部の表の１行目に（ＭＳ明朝・１４ポイント・センタリング），サブタイトルがある場合には，２行目（ＭＳ明朝・１０ポイント・センタリング）に入力してください．

　　なお，タイトル及びサブタイトルともに２３字以内でお願いします．

　　発表者名は３行目に（ＭＳ明朝・１０ポイント・右づめ），３名以内とします．発表者が４名以上にわたる場合は，代表者１名のみ記入し，その後に「他○名」と入力します．所属の記入は，都道府県，区市町村，学校の順で，次の要領で入力してください．

　(1) 特別区のある場合は，都市名の後に区名

　(2) 都道府県所在地は，都道府県名を省略

　(3) 高等学校は，都道府県のみ

　(4) 高専，大学は，都道府県名および都市名不要

**３　原稿の内容**

　　研究のねらい，研究の方法，考察，結果のまとめ　等，研究の概要がよく分かるように要領よく書いてください．「大会発表要旨集の内容と大会当日の発表内容が違う」「序論が多く，研究内容を示す本文がない」等の指摘が例年いくつかあるようです．そのようなことがないように，充分内容を練って推敲してください．また，研究が現在進行中で大会当日でなければ結果が発表できない場合は，その旨を書いてください．

**４　原稿表記上の注意**

　(1) 読点はコンマ「，」，区点はピリオド「．」とする．

　(2) 句読点，＋，－，×，÷，＜，＝などの記号は１字分とする．

　(3) 数字はバランスを考えて，２つで１字分または１つで１字分とし，分数や積分記号は２行分としてください．

　(4) 表の縦，横の罫は１字分，１行分としてください．

　(5) 見出しの番号は，つぎの順番でお願いします．

　　　　１　２　３………，（１）（２）（３）………，ア　イ　ウ………，（ア）（イ）（ウ）………

　(6) 文体は，常体で，「………と考える．」「………である．」などとして，本文の書き出し，改行のときは，必ず１文字あけて書いてください．

**５　原稿のアップロード**

　(1) 研究発表原稿用テンプレート（ひな型）をダウンロードし，保存してください．

　(2) テンプレートに上書きするかたちで研究発表原稿を作成してください．

　(3) 原稿のファイル名は「●●●●」としてください．●は発表者の氏名（フルネーム）です．

　　　（例：鈴木一郎）

**※ 上記手順で作成したワードファイルを「フォント埋め込みされたPDF」に変換し,そのPDFデータを提出してください．**

PDFのフォント埋め込みとは？

個人の使用する環境と，印刷所で使用する環境で使用するフォントが違うためにおきる現象です．フォントが埋め込まれていない場合，文字化けを起こしてしまう可能性が高くなりますので，「フォント埋め込み済のPDF」データの提出をおねがいしております．

詳しくはAdobe社の以下のサイト等をご確認ください．

フォントを埋め込むメリット

<http://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/725.html>

PDFファイルにフォントが埋め込まれているか確認する方法、PDF ファイルにフォントを埋め込む方法

<https://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/225564.html>

(4)お送りいただいた原稿は，B5サイズに縮小したうえで，そのまま大会発表要旨集の印刷に使用します．大会実行委員会では体裁の修正等，行いません．

**≪参考≫部会・分科会一覧**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 幼稚園・小学校部会 | 中学校部会 | 高等学校部会 | 高専・大学部会 |
| １　教育課程・評価，  幼児教育  ２　数と計算  ３　図形  ４　測定  ５　変化と関係  ６　データの活用  ７　問題解決・課題学習  ８　数学的な見方・考え  　　方  ９　学習指導法  10　ICTの活用・プログ  ラミング教育  11　基礎研究・自由研究 | １　教育課程・評価，  学習支援  ２　数と式  ３　図形  ４　関数  ５　データの活用  ６　問題解決・課題学習  ７　数学的な見方・考え  　　方  ８　学習指導法  ９　ICTの活用  10　教科横断的な指導  ・数学の活用  11　基礎研究・自由研究 | １　教育課程・評価，  大学入試と高大接続  ２　数学Ⅰ・数学Ａ  ３　数学Ⅱ・数学Ｂ  ４　数学Ⅲ・数学Ｃ  ５　問題解決  ６　数学的な見方・考え  　　方  ７　学習指導法  ８　ICTの活用  ９　教科横断的な指導  ・数学の活用，専門  学科・総合学科等で  の指導  10　基礎研究・自由研究 | ○高専・大学における数学基礎教育の諸課題  ○理工系の数学に関する諸課題  ○教員養成に関わる数学教育の諸課題 |

**[Ｃ]“大会発表要旨集”原稿用紙の割り付け**

研究発表用

01　　　　　　　　　　　○○○○○○研究主題○○○○○○（２３字以内）

02

03　　　　　　　　　　　　　　　　○○○○○○副題○○○○（２３字以内）

04

05　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○○勤務校○○○　○　○　○　○

　　　　　　1行２２字　　　　　　　　　　　　　２字　　　　　　　１行２２字

01　１　研究のねらい（はじめに）　　　　　　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

02　■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

03　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

04　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

05　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

06　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

07　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

08　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

09　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

10　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

11　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

12　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

13　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

14　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

15　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

16　２　研究の内容（方法）　　　　　　　　　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

17　■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

18　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

19　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

20　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

21　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

22　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

23　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

24　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　３　研究のまとめ（考察）

25　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

26　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

27　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

28　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

29　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

30　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

31　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

32　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

33　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

34　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

35　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

36　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

37　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○